

平成16年度総務委員会活動報告

1. 会議等の開催状況

・委員会

第1回 平成16年 9月 9日（東京大学附属図書館）

第2回 平成17年 3月16日（東京大学附属図書館）

・文書回議

平成16年 8月 6日 職員の海外派遣について

平成16年 8月27日 協会賞関係諸規程の改正について

平成16年10月 4日 科学技術の振興に関する意見募集について

平成17年 1月18日 第30期日本図書館協会施設会員代表役員（理事・評議員）の選出について

平成17年 5月10日 第52回国立大学図書館協会総会ワークショップのテーマについて

2. 活動内容

（1）職員の海外派遣について

国際学術コミュニケーション委員会における協議結果を受けて、平成16年度及び平成17年度のICOLC会議、及び日韓ILL/DD合同会議、Library Advisory Board Meeting - Asiaへの会員館職員の派遣について了承した。

（2）協会賞関係諸規程の改正について

協会賞関係諸規定の改廃について協議を行い、改正案を作成した。

（3）COUNTERへの加入について

学術情報委員会からの提起により、当プロジェクトへの加入を検討し、それに伴う協会予算からの会費の支出を了承した。

（4）著作権等管理事業法の施行状況等に関する意見募集について

文化庁著作権課からの意見募集への対応を協議した結果、国公立大学図書館協力委員会著作権検討委員会で文言等を含めて検討した上で、文化庁に提出することとした。

（5）文部科学大臣等に対する要望について

国公立大学図書館全体の枠組を見据えた上で、国立大学図書館協会として要望事項をとりまとめられるかどうかについて今後検討していくこととした。

（6）科学技術の振興に関する意見募集について

文部科学省科学技術・学術政策局からの意見募集への対応を協議し、意見を提出した。

（7）協会賞受賞者の選考について

協会賞審査委員会における審査に基づいた、協会賞等専門委員会の審査結果について協議し、東北大学による応募作品『『東北大学生のための情報探索の基礎知識』の制作刊行活動とそれを活用した全学教育科目支援』を、受賞候補作品とし

て選考した。

(8) 第52回国立大学図書館協会総会の運営について

第52回国立大学図書館協会総会日程(検討案)を作成した。

また、ワークショップ運営に関する協議・決定スケジュールを作成し、各理事館から提案されたワークショップのテーマについて取りまとめを行った。

(9) 平成17年度予算(案)について

平成17年度予算(案)作成に向けて、支出科目ごとに検討を行い、各理事館に提案を求めた。

(10) 関係団体への派遣役員について

国公立大学図書館協力委員会、日本図書館協会等への派遣役員について協議し、人選については協会事務局に一任した。

(11) 各地区協会における審議事項について

以下の3点を各地区協会総会審議事項として決定した。

平成17年度地区選出の理事候補館及び監事候補館

NACSIS-CAT/ILLの課題解決

国立大学図書館協会での研修計画

(12) 岸本英夫博士記念基金等の取り扱いについて

岸本英夫博士記念基金と落合元会長、雨森元事務局長による寄付金の取り扱いについて、以下の案を作成した。

「国立大学図書館協会記念基金事業(仮称)」の下に各基金を統合し、各々の名称を残した上でその趣旨に合わせて運用する。総会時の寄付金も含めて全額を協会予算に繰り入れるが、予算・決算は「記念基金事業」として独立させる。

3. メンバー

総務委員会

委員長：笹川郁夫 東京大学附属図書館事務部長
(国立大学図書館協会事務局長)

委員：西郷和彦 東京大学附属図書館長補佐
横山正明 東京工業大学附属図書館長
大熊孝 新潟大学附属図書館長
平元健史 広島大学図書館部長
石井保廣 九州大学附属図書館事務部長

協会賞等専門委員会

委員長：平元健史 広島大学図書館部長
委員：友光健二 東京大学附属図書館情報サービス課長
星野茂登一 新潟大学附属図書館情報管理課長